

愛さない。愛したい。愛する？愛せば。愛せう！

MINNIE &  
MOSKOWITZ

Gena Rowlands  
Written and Directed by John Cassavetes



CHASSAILES 2000

ミニー&モスコウイツ

STAFF Written and Directed by John Cassavetes Produced by Al Rubin Associate Producer: Paul Donnelly Photography: Arthur J. Ornitz, Alric Edens, Michael Margulies  
CAST Gena Rowlands Seymour Cassel Val Avery Katherine Cassavetes Faye Hens Lady Rowlands David Rowlands John Cassavetes

Editing: Fred Knutson Music Supervisor: Ben Hurwood  
Distributed by Bitters End URL <http://www.bitters.co.jp/>



アメリカの素晴らしきところの一つに、二人の人間が恋に落ちると、それが過去にあったことを全部消し去ってしまうのである。愛は偉大な消しゴムだよ。—『ジョン・カサヴェテスは語る』より

### 信頼から生まれる愛。

美術師で働くプロローラ美人、ミニモーア（ジーナ・ローランズ）。何でも持っているはずなのに、彼女の心は満たされない。長髪ビジュアルのハイハイ青年シーモア・モスコウイツ（ジューモア・カッセル）。彼はミニモーアに一目惚れしたおかげで失業してしまふ。ミニモーアに猛烈アタックするモスコウイツだが、「共通点がない。理想の恋人じゃない」と相手にしてもらえない。彼女の高飛車な態度にキレつつも、愛する気持ちは抑えられず、またミニモーアに会いに行くモスコウイツ。彼にとっては二人の運いなどクソ食らえない。愛情表現も面談で、悪いところは指摘し、心から彼女のことを思うモスコウイツに、ミニモーアはそれまでの恋人には恋しなかった。人間的な信頼感を抱くようになる。粗雑だが包み込むような彼の愛が、彼女を変えてゆく。

何の共通点もない男女が出会い、反発しながらお互いを認め合い、信頼から愛が生まれる。単純で不器用な二つの心、その感情の流れを、小気味よいギャグをバツクにユーモアをちりばめながら描き出した、心躍まるラヴ・ストーリー「ミニモーアとモスコウイツ」が、遂に劇場公開！！

### 素直になれない女と超純粋な男。

大きな六角形のサンガラス、プラスティック製の赤い薔薇の髪留め、サイケなブラス…。キツく短く70sスタイルも魅力的なミニモーアを演じるのはジーナ・ローランズ（「グロリア」）。映画のような恋愛を夢みて、プラライドと強強の狭間で揺れ動くミニモーアの心を、持ち前の繊細さで見事に表現している。そしてシーモア・カッセル（「イン・ザ・サブ」）が、経験豊富で何にも求婚される。人を愛することの素直らしさを知っている粋な風来坊、モスコウイツを愛嬌一杯に演じる。この二人が絶妙のコンビネーションでみせる、男女の心が通じ合うまでのやりとりがあまりにもどかしく、思わず反響したくなる。

キャスト：ジーナ・ローランズ、シーモア・カッセル、ヴァレ、エイヴリー、ジョン・カサヴェテス、レディ・ローランズ、キャサリン・カサヴェテス  
スタッフ：監督：ジョン・カサヴェテス、原作：アル・ルーバーン、撮影：アーサー・オーネッツ、アルリック・エデンス、マイケル・マーグリス、編集：フレッド・ナトソン、音楽監督：ボニー・ハーウッド 1971年/アメリカ/カラー/114分/ワイドスクリーン/プロダクション/配給：ヒタコ・エース

### カサヴェテスとジーナの恋物語。

監督カサヴェテスと主演のジーナは夫婦として、そして監督と女優として最高のパートナーであり続けたアメリカ映画界伝説のカップル。本作はカサヴェテスのジーナへの情熱的な求愛がモデルとなっている。カサヴェテスの一目惚れ、二人の気性のぶつかり合い、移民の息子と政治家の娘という出身の違い、彼の嫉妬、結婚式の豪華なエピソードなどがモチーフとなり、この映画が誕生した。女性が白馬の王子様を持ち帰れるのは本能だと信じている彼が、その本能に男性がいかに立ち向かうかというひとつの“お手本”を示す、最高にハッピーな傑作である。また、「フェイリス」【ハズバンズ】と本作は、彼が一貫して描いてきた愛について、とりわけ結婚をテーマとしたカサヴェテスの結婚三部作と呼ばれている。

### 監督ジョン・カサヴェテス。

人間とその感情、そしてそこに息づく愛を描き続けた監督カサヴェテス。同時に「ローズマリーの赤ちゃん」などに出演し、個性派俳優として知られる。「アメリカの影」で、それまでの映画製作の概念をことごとく打ち破るスタイルでセンセーショナルな監督デビューを飾り、以来自分の描きたいものだけを撮り続けた。「グロリア」、「ワースト・ルームス」など12本の監督作を現し、1989年2月3日、59歳の若さでこの世を去った。その製作スタンスがインディペンデント映画のバース・ストロームの「アメリカン・インディーズの父」と呼ばれる。ウディ・アレン、マーティン・スコセッチ、ジム・ジャームッシュなど「ニュー・ヨーク派」の先駆的存在であり、ジャン＝リュック・ゴダール、ウィム・ヴェンダース、ロバート・アルトマン、リュック・ベッソン、ウォン・カーウァイ、ハーマン・コリンなど多くの映画人から熱烈なオマージュを捧げられる伝説の監督である。

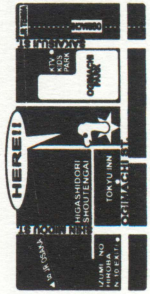


CASSAVETES 2000

カサヴェテス特集上映 ©CASSAVETES 2000◎  
 A:ハズバンズ B:ミニモーアとモスコウイツ C:グロリア  
 4月29日(土)~5月5日(金) 11:20=C/1:40=A/4:05=B/6:15=A  
 5月6日(土)~5月19日(金) 11:15=A/1:40=B/3:50=A/6:15=B

カサヴェテス監督作品  
**「愛の奇跡」**  
 レイトショー決定！  
 5月6日(土)~19日(金)  
 連日PM8:20より

前売特別観覧券=1400円  
 (当日一般=1700円)  
 劇場窓口にて前売り券を  
 お買い求めの方にポスト  
 カードプレゼント！(体数有限)  
 ●各回完全入替制



ホワイチ梅田店の広場105に上がる乗5分  
**嵐町ミュージアムスクエア**  
 ☎06-6361-0088 www.oms-g.jp